



令和2年11月2日

都道府県剣道連盟
理事長、専務理事 各位

公益財団法人全日本剣道連盟
専務理事 中谷行道

全日本剣道選手権大会、全日本女子剣道選手権大会開催通知

公益財団法人全日本剣道連盟（以下「全剣連」）は、令和3年3月14日（日）、長野県長野市において、全日本剣道選手権大会、全日本女子剣道選手権大会を同時開催することを決定しました。

全剣連は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、多くの大会、行事を中止しましたが、この間、稽古や活動の再開に当たって稽古中のマスク・シールドの着用等の感染症防止策を「感染拡大予防ガイドライン」として定め、剣道界を挙げてガイドラインを遵守してきました。また、「審査会実施に当たっての感染予防ガイドライン」を定め、これに沿って、本年8月以降審査会を順次実施してきました。

これらの結果、普段の稽古や審査会でも大きな問題が発生しておらず、ガイドラインで定めたルールを「マナーとして互いに守り合えば」、感染症防止策の観点からは、「剣道の稽古を安全に継続できる」ことを確認しました。

このため、全剣連は、上記の感染症防止策の下で「男女の選手権大会を開催」することとしました。

つきましては、各都道府県剣道連盟におかれては、予選会を実施のうえ、各都道府県の代表選手を選出していただけるようお願いいたします。大会要項は、ほぼ例年通りですが、正式には近日中に事務局から発出します。代表選手の登録締め切りは、2月中旬を予定していますので、ご注意ください。

予選大会は、全剣連の「主催大会実施に当たっての感染予防ガイドライン」に沿って実施願います。なお、同ガイドラインでは「鏝競り合い」や「審判員の入退場の方法」等がこれまでの規則と異なっています。これらの徹底のため、全剣連試合審判委員会がブロック毎に研修を実施する予定です。研修の実施予定日等は、事務局からご相談申し上げますので、よろしくご協力ください。

全剣連としては、今般の全日本選手権等において、各種ガイドライン等の防止策の「効果を更に確認」、「点検」した上で、次年度以降の全国的な各種の大会を「再開」することとしていますので、併せてお知らせ申し上げます。

以上